



羅 臼 町

平成24年度（平成23年度対象）

羅臼町教育行政の点検・評価報告書

羅臼町教育委員会

# 目 次

<b>第Ⅰ章</b>	<b>はじめに</b>	<b>2</b>
1	目 的	
2	学識経験者の知見の活用	
3	点検評価の概要	
4	教育行政評価委員	
<b>第Ⅱ章</b>	<b>羅臼町教育委員会の活動状況</b>	<b>3～6</b>
1.	平成23年度教育委員会の開催	
2.	教育委員の活動状況	
3.	条例・規則等の制定、計画等の策定状況	
<b>第Ⅲ章</b>	<b>平成23年度の取り組みの概要</b>	<b>7～15</b>
1.	学校教育活動	7～9
(1)	人間形成の基礎を培う幼稚園教育	
(2)	信頼される学校教育	
(3)	確かな学力を育む学習指導	
(4)	豊かな心や健やかな体を育む教育	
(5)	特別支援教育の推進	
(6)	中高一貫教育の充実	
(7)	自然環境教育の推進	
(8)	中学校の適正配置計画について	
2.	学校教育に関わるその他の取り組み	10～11
(1)	主な調査	
(2)	いじめ・不登校への取り組み	
(3)	教育委員会が行った教職員の研修等	
(4)	各種学校・学級支援	
3.	社会教育施策	12～15
(1)	社会教育事業	
(2)	公民館事業	
(3)	図書室事業	
(4)	社会体育事業	
<b>第Ⅳ章</b>	<b>外部評価委員の意見</b>	<b>16～20</b>

# 第1章 はじめに

## 1 目的

この報告書は、地教行法第27条の規定に基づき、平成23年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

この報告書により、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしてまいります。

## 2 学識経験者の知見の活用

地教行法第27条第2項に規定する教育に関し、学識経験を有する者の知見の活用につきましては、羅臼町教育委員会が行った点検・評価の結果について、学識経験者2人からの意見をいただきました。

氏名	住所	職業	備考
二宮 信一	釧路市城山1-15-55	教育大学釧路校准教授	教育学・特別支援教育
境 智洋	釧路市城山1-15-55	教育大学釧路校准教授	地域学校教育

## 3 点検評価の概要

第Ⅲ章 平成23年度の取り組みの概要で示した内部評価は、羅臼町教育委員会が行った点検・評価の結果をまとめたものです。なお、評価の基準は次の通りです。

評価の基準

- A：達成状況の充分なもの（効果が現れているもの）
- B：ほぼ達成しているもの（一部効果が現れているもの）
- C：進行中（進行はしているが効果がみられないもの）
- D：検討中または計画はしたが未着手のもの。

## 4 羅臼町教育行政評価委員

羅臼町教育行政点検評価にあたりましては、会議を通じて各事業の点検評価内容の説明を行うとともに、次の5名の各委員から具体的な意見などをいただきました。

氏名	住所	職業	備考
二宮 信一	釧路市城山1-15-55	教育大学釧路校准教授	教育学・特別支援教育
境 智洋	釧路市城山1-15-55	教育大学釧路校准教授	地域学校教育
芦崎 輝雄	羅臼町八木浜町24	会社役員	元羅臼町教育委員長
関 勝則	羅臼町麻布町50	会社役員	道社会教育アドバイザー
佐々木 泰幹	羅臼町幌萌町623-42	知床山岳ガイド	知床山海塾塾長

尚、委員の任期は平成24年4月1日から平成26年3月31日までとなっています。

## 第Ⅱ章 羅臼町教育委員会の活動状況

### 1 平成23年度教育委員会の開催

羅臼町教育委員会は、毎月1回の定例会のほか、教育懇談会や教育課題に対する協議会等を開催し、事務局との連携を図りながら教育行政の推進に関する意見の交換会や視察・研修などを実施し教育行政の推進に努めてきました。

平成22年度の教育委員会の会議は、原則毎月最終週に定例会を開催し、会議終了後には研修会や懇談会を行い、より理解を深める活動を行っています。

会議の開催状況は次の通りです。

開 催 日	付 議 案 件
平成23年4月26日 第4回定例会	<b>【報告事項】</b> 第4号 諸会議・諸事業について 第5号 平成23年度羅臼町中高一貫教育活動計画について <b>【その他】</b> 1 ユネスコスクールの申請について 2 平成23年度教育委員の学校訪問について
平成23年5月26日 第5回定例会	<b>【報告事項】</b> 第6号 諸会議・諸事業について 第7号 第4回羅臼町議会臨時会について <b>【協議事項】</b> 議案第10号 平成23年度教育行政執行方針について <b>【その他】</b> 1 根室管内教育委員連合会総会・研修会について 2 平成23年度教育委員幼・小・中学校訪問について 3 中高一貫貴教育時間遅れの学力検査について
平成23年6月29日 第6回定例会	<b>【報告事項】</b> 第8号 諸会議・諸事業について <b>【協議事項】</b> 議案第11号 平成23年度準要保護児童・生徒の認定（追加）について <b>【その他】</b> 1 全道教育委員研修会について 2 根室管内教育委員連合会総会・研修会について
平成22年7月22日 第7回定例会	<b>【報告事項】</b> 第9号 諸会議・諸事業について <b>【協議事項】</b> 議案第12号 平成24年度から使用する中学校用教科用図書の採択について 議案第13号 平成24年度使用教科書のうち学校教育法附則第9条に規程する教科用図書の採択基準について 議案第14号 平成23年度準要保護児童・生徒の認定（追加）について
平成23年8月25日 第8回定例会	<b>【報告事項】</b> 第10号 諸会議・諸事業について <b>【協議事項】</b> 議案第15号 平成23年度教育費予算補正について 議案第16号 平成23年度羅臼町表彰規定に基づく該当者の推薦について

<p>平成23年9月27日 第9回定例会</p>	<p>【報告事項】 第11号 諸会議・諸事業について</p> <p>【協議事項】 選挙第1号 羅臼町教育委員会 委員長の選挙について 議案第17号 羅臼町教育委員会 委員長職務代理者の指定について</p> <p>【その他】 1 平成24年度新採用羅臼町立幼稚園教諭の募集について 2 平成23年度根室管内市町教育委員会連合会定期総会及び研修会について</p>
<p>平成23年10月14日 第10回定例会</p>	<p>【報告事項】 第12号 諸会議・諸事業について 第13号 羅臼町立幼稚園教諭採用試験問題策定委員会設置要綱の制定について 第14号 羅臼町小・中学校適正配置計画再検討委員会設置要綱の制定について</p> <p>【その他】 1 平成23年度羅臼町教育行政の点検・評価 内部評価調書について 2 校長等との教育懇談会について 3 教育関係者合同忘年会について</p>
<p>平成23年11月14日 第11回定例会</p>	<p>(報告事項) 第15号 諸会議・諸事業について</p> <p>【協議事項】 議案第18号 羅臼町の職員で非常勤職員のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正する条例制定について 議案第19号 羅臼町体育指導員に関する規則の一部を改正する規則の制定について 議案第20号 羅臼町体育指導員の会議運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について 議案第21号 羅臼町教育委員会事務局処務規定の一部を改正する教育委員会規程の制定について 議案第22号 羅臼町町民体育館処務規定の一部を改正する教育委員会規程の制定について 議案第23号 羅臼町社会教育中期計画策定要綱の一部を改正する教育委員会訓令の制定について 議案第24号 羅臼町郷土資料館設置条例の制定について 議案第25号 羅臼町郷土資料館の管理、運営等に関する教育委員会規則の制定について</p> <p>【その他】 1 教育懇談会について</p>
<p>平成23年12月28日 第12回定例会</p>	<p>【報告事項】 第16号 諸会議・諸事業について</p> <p>【協議事項】 議案第26号 羅臼町立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について 議案第27号 事務主幹配置学校の指定について</p>
<p>平成23年12月28日 第1回教育懇談会</p>	<p>羅臼町校長会との教育懇談会 「児童生徒の学力の向上をについて」</p>
<p>平成23年12月28日 第1回教育委員協議会</p>	<p>【協議事項】 1 小学校における教育課程の管理などについて</p>

<p>平成24年1月24日 第1回定例会</p>	<p>【報告事項】 第1号 諸会議・諸事業について</p> <p>【協議事項】 議案第1号 羅臼町個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について 議案第2号 羅臼町教育委員会の事務局及び所管機関の組織に関する規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について 議案第3号 羅臼町教育委員会事務局処務規定の一部を改正する教育委員会規程の制定について</p>
<p>平成24年2月23日 第2回定例会</p>	<p>【報告事項】 第2号 諸会議・諸事業について</p> <p>【協議事項】 議案第4号 平成23年度教育費予算補正について 議案第5号 羅臼町学校給食センター設置条例施行規則（昭和46年10月26日 規則第2号）の一部を改正する規則の制定について 議案第6号 平成23年度児童生徒表彰について 議案第7号 平成24年度教育費予算編成について 議案第8号 平成24年度教育行政執行方針について</p> <p>【その他】 1 平成23年度幼稚園・小中学校卒業式日程について 2 教育関係合同送別会について</p>
<p>平成24年3月7日 第1回臨時教育委員会</p>	<p>平成24年度第1回臨時教育委員会の開催</p> <p>【協議事項】 議案第9号 教育課程の管理について</p>
<p>平成24年3月26日 第3回定例会</p>	<p>【報告事項】 第3号 諸会議・諸事業について 第4号 平成23年度（平成22年度対象）羅臼町教育行政の点検・評価報告書について</p> <p>【協議事項】 議案第10号 平成24年度準要保護児童生徒の認定について</p> <p>【その他】 1 平成24年度転入校長等辞令交付式日程について 2 教育関係者合同歓迎会について</p>

i 開催回数 ・ 定例会 12回 臨時会 1回 協議会 1回

ii 審議事項 ・ 議決案件20件 ・ 報告案件13件 ・ 協議案件12件 ・ その他15件

## 2 教育委員の活動状況

### ①研修会に関する事項

- i 根室管内教育委員会連合会研修会（釧路管内鶴居村・釧路小学校視察）
- ii 北海道教育委員会連合会研修会（札幌市）
- iii 教育委員研修会北海道立教育研究所企画研修部との懇談会
- iv 教育委員研修会「校長会との教育懇談会」
- v 教育委員研修会「コーディネーショントレーニング研修会」
- vi 教育委員研修会「羅臼町の児童生徒の学力の状況について懇談会」
- vii 教育委員研修会「児童生の体力運動能力の結果について」

②学校行事に関する事項

- i 羅臼幼稚園、春松幼稚園の卒園式・入園式・運動会・発表会・公開授業研  
・全道国公立幼稚園教育研究大会
- ii 羅臼小学校、春松小学校卒業式・入学式・運動会・学芸会・公開授業研  
・学習指導法研究大会
- iii 羅臼中学校、春松中学校卒業式・入学式・体育大会・文化祭・公開授業研
- iv 羅臼高等学校卒業式・入学式・学校祭・中高一貫教育

③社会教育に関する事項

- i 羅臼町成人式    ii 羅臼町文化祭    iii 文化協会総会

④体育行事に関する事項

- i 国後眺望駅伝大会    ii 総合型地域スポーツクラブ「らいず」総会

⑤その他

- i 知床ユネスコ協会総会出席    ii 教育委員の幼稚園・学校訪問
- iii 高校生の水産教室    iv 羅臼町敬老会    v 通学バス懇談会

**3 条例・規則等の制定、計画等の策定状況**

議案番号	条例・規則等の制定、計画等名	担当課
第13号	羅臼町立幼稚園教諭採用試験問題策定委員会設置要綱の制定について	学務課
第14号	羅臼町小・中学校適正配置計画再検討委員会設置要綱の制定について	学務課
第18号	羅臼町の職員で非常勤職員のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正する条例制定について	学務課
第19号	羅臼町体育指導員に関する規則の一部を改正する規則の制定について	社会教育課
第20号	羅臼町体育指導員の会議運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について	社会教育課
第21号	羅臼町教育委員会事務局処務規定の一部を改正する教育委員会規程の制定について	学務課
第22号	羅臼町市民体育館処務規定の一部を改正する教育委員会規程の制定について	社会教育課
第23号	羅臼町社会教育中期計画策定要綱の一部を改正する教育委員会訓令の制定について	社会教育課
第24号	羅臼町郷土資料館設置条例の制定について	社会教育課
第25号	羅臼町郷土資料館の管理、運営等に関する教育委員会規則の制定について	社会教育課
第26号	羅臼町立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について	学務課
第1号	羅臼町個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について	学務課
第2号	羅臼町教育委員会の事務局及び所管機関の組織に関する規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について	学務課
第3号	羅臼町教育委員会事務局処務規定の一部を改正する教育委員会規程の制定について	学務課
第5号	羅臼町学校給食センター設置条例施行規則(昭和46年10月26日 規則第2号)の一部を改正する規則の制定について	学務課

## 第三章 平成23年度の取り組みの概要

### 1. 学校教育活動

#### (1) 人間形成の基礎を培う幼稚園教育

取組みの概要	幼稚園教育が目指す「生涯にわたる人間形成の基礎を培う」ことができるよう、幼児期と児童期の連続を踏まえた教育活動の重要性が増していることから、保護者や地域と連携を深めながら小学校との交流活動を一層深化させ、互恵性のある円滑な接続を推進する。 また、幼稚園と小学校が互いの教育を理解し見通す「連続性・一貫性」を捉えた接続のためのカリキュラムを作成し、これを実施することなどを踏まえて、次の9項目を重点推進項目として推進した。	内部評価
推進項目	①幼稚園と小学校との相互乗入れ授業を一層効率的に推進し、幼児期の心身ともに調和の取れた発達を助長する。	B
	②「数の概念」や「ことばの概念」について、充実した広がりのある活動を推進する。	B
	③食育・「自然環境教育」などを教育課程に位置づけ小学校との連続を意識した取り組みを推進する。	B
	④「早寝・早起き・朝ごはん」運動と歯磨き指導を推進する。	A
	⑤「基礎的な体力(腹筋・背筋・筋緊張の維持など)の向上」を目指した活動を推進する。	B
	⑥小学校低学年担当教諭と幼稚園教諭との交流を促進する。	B
	⑦幼稚園教諭の研修を推進する。	A
	⑧幼稚園教諭を特別支援教育支援員として各小学校に派遣する。	A
	⑨春松幼稚園で実施される「第49回北海道国公立幼稚園教育研究大会・根室大会」を支援する。	A

#### (2) 信頼される学校教育

取組みの概要	学校・家庭・地域、相互の関わりを深めながら、学校に関する適宜な情報や情報発信を通じて、開かれた学校づくりに努めるとともに、自己評価や学校評価、保護者アンケート調査などを実施して、教育活動を進めるうえで必要な意見や要望は生かす工夫を促し、次の4項目を重点推進項目として推進した。	内部評価
推進項目	①適切な情報提供や情報発信を行ない開かれた学校づくりを支援する。	A
	②「自己評価」・「学校評価」・「保護者アンケート調査」等を実施し、「意見・要望」などの学校運営や教育活動への反映を行い、地域に信頼される学校づくりを推進する。	A
	③実践的な指導力の向上を目指し校内研修の充実を支援する。	A
	④地区内の幼・小・中交流を推進する。	A

#### (3) 確かな学力を育む学習指導

取組みの概要	基礎学力の定着と向上を図るため、各種テストの結果から明らかにされている各校の課題解決に向けて、家庭学習の定着に向けた活動を支援するほか、道立教育研究所との連携事業として教職員の指導力向上を目指した研修や理科支援員などの配置を実施した。小学校は新しい学習指導要領が完全実施となりますので適切に対応されるよう次の14項目を重点推進項目として推進した。	内部評価
	①全国学力学習状況調査について、抽出校がないので全校希望参加をする。	A
	②全校でCRTテストを2月実施する。	B



推進項目	③全校で「Q-U」を年間2回実施する。	B
	④道立教育研究所が行う「家庭学習の定着推進プロジェクト研究事業」を積極的に支援し、家庭学習の定着に向けた活動を推進する。	B
	⑤PTA連合会が推進する家庭における生活習慣の定着に向けた活動を支援する。	C
	⑥子どもたちの長期休業中期間を利用し、道立教育研究所との連携のもと教職員の指導力向上を図る研修を実施する。	B
	⑦授業力の向上を目指して学校内での研修会や公開授業、自己研修などを奨励し教職員の資質の向上を図る取り組みを支援する。	A
	⑧教育大学釧路校と連携し小学校と中学校で放課後学習を実施する。	A
	⑨教育大学釧路校と連携し、小学校・中学校に教科支援員を配置する。	A
	⑩地区別の幼稚園・小学校・中学校の交流をより一層推進する。	B
	⑪小学校における外国語活動や算数授業の充実を図るため高学年については、中学校の専門教諭との積極的な交流指導を推進する。	C
	⑫小学校間、中学校間の連携交流授業を積極的に推進する。	D
	⑬羅臼町教育研究会をはじめ、学習指導法研究会や校内研究授業公開など、実践的指導力を高める活動を支援する。	A
⑭「羅臼町学習活動実践プラン」を策定し、関係機関や関係団体とも連携し、実効性のある取り組み通じて学習意欲の高揚、学習成果の定着化、家庭学習・家庭生活の習慣化等を推進する。	C	

#### (4) 豊かな心や健やかな体を育む教育

取組みの概要	<p>道徳教育は、学校の教育活動全体を通じて行ない、命の尊さや生きることの素晴らしさなどを実感させる教育を推進し、人権を尊重する心や他人を思いやる心などを育成するためには今まで以上に福祉課をはじめ関係機関や関係団体との連携を強化した取り組みを行なうよう促した。</p> <p>又、全般的に児童・生徒は運動不足の傾向であることから、日常的な活動を通じて体力の向上を図るとともに、望ましい食習慣や生活習慣について保護者への啓発を推進するため、次の8項目を重点項目として推進した。</p> <p>さらに、学校給食を通じてふるさとの産業や食文化を理解する食育を推進した。</p>	内部評価
	推進項目	
推進項目	①成長段階に応じたボランティア活動や自然体験学習・職場体験学習などを推進する。	A
	②特に、発達段階ごとの自然体験プログラムが策定されたので、幼稚園から小・中学校につながる自然体験活動を自然環境教育主幹とチーム・ティーチングによって推進する。	B
	③道徳教育を通じて、命の尊さや人権を尊重する心を育む教育を推進する。	B
	④将来にわたって健康な生活を維持するために、運動に親しみ基礎体力の向上を目指した活動を推進するとともに、福祉課をはじめ関係機関や関係団体との連携を強化し食育や家庭における望ましい食習慣や生活習慣の確立に向けた啓発を推進する。	B
	⑤学校給食に無償で提供される地域の食材を活かし、食物を大切にする心や感謝の心、地域産業の理解教育等に積極的に活用する。	B
	⑥異文化交流を通じて多様な食文化を体験する。	C
	⑦児童生徒の安全確保に向けて実践的な指導を徹底する。	A
	⑧不登校や問題行動は、家庭や地域、福祉課、関係機関等との連携した取り組みを推進する。	B

#### (5) 特別支援教育の推進

取組みの概要	<p>国の特別支援教育の考え方をうけ、特別支援学級に在籍する子はもとより、普通学級に在籍する幼児・児童・生徒を含めた全ての子ども達の生涯にわたる自立に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立った教育を推進することをめざし、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、持てる力を高め生活上の困難を改善・克服するために、乳幼児からの一貫した支援方策の確立に向けて福祉・保健・医療などの関係者や団体等の連携を強化し、具体的な活動を推進するため次の5項目を重点として推進した。</p>	内部評価
--------	--	------

推進項目	①特別支援教育コーディネーター等研修会を開催する。	B
	②特別支援教育に係わる児童・生徒の個別 指導計画書を作成する。	A
	③特別支援教育の考え方を生かした学級経営や教科経営を推進する。	B
	④関係機関や関係団体との連携を図り、支援を必要とする子どもへの指導の充実を図る。	B
	⑤春松小学校と羅臼小学校に特別支援教育支援員を配置する。	B

#### (6) 中高一貫教育の充実

取組みの概要	<p>羅臼地区の中高一貫教育を推進して4年目となった平成22年度に、保護者や関係者を対象にアンケート調査を実施した結果、総合学習や特別活動に関する項目は高い評価を得ることができたが、学習に関する項目は大変低い評価となって回答されました。高校入試に学力検査がなくなったことへの保護者の不安の表れであり、今後この不安を取り除く活動を具体的に見える形で推進して行く必要があることから、次の4項目を重点として推進した。</p>	内部評価
推進項目	①学力の向上に向けた具体的な方策を確立し推進する。	B
	②大学との事業連携を目指した活動を推進する。	C
	③ユネスコスクールへの登録と自然環境教育の関連を明確にした活動を推進する。	B
	④中学校・高校の自然環境教育の推進にあたっては、専門的指導員とのT・Tを積極的に推進する。	B

#### (7) 自然環境教育の推進

取組みの概要	<p>羅臼町の自然環境教育の更なる深化を図るため、幼稚園・小学校・中学校・高等学校まで一貫した自然環境教育プログラムを推進することを目指し幼稚園から高校までユネスコスクールに登録するため、次の3項目を重点として推進した。</p>	内部評価
推進項目	①体系化された自然環境教育プログラムによって、発達段階に応じた自然環境教育を推進し、幼稚園から高校までユネスコスクールに登録する。	A
	②教員を対象にユネスコスクール推進に向けた各種研修を行う。	B
	③ビジターセンターや郷土資料室などを活用した「知床学」の基礎的な学習を推進する。	A

#### (8) 中学校の適正配置計画について

取組みの概要	<p>学校適正配置計画の策定後に多くの状況が変化していることや、人口の減少に伴う新生児出生の低下など、当初では見通すことができなかった乖離が発生していることから、有識者をはじめ関係機関や関係団体等によって検討会を組織し、子ども達の将来を見据えたよりよい教育効果が得られる方向性を検討するため、次の1項目を重点として推進した。</p>	内部評価
推進項目	①平成27年度を目処として羅臼町第6次総合計画に位置づけられている中学校校舎の建設に向けて、最良の教育効果が発揮できる教育環境の整備について、有識者をはじめ関係機関や関係団体等によって検討会を組織し検討を行なった。	A

## 2. 学校教育に関わるその他の取り組み

### (1) 主な調査

調査月日	調査名	担当課
平成23年 2月 2日	小学校CRT調査	学務課
平成23年 2月 4日	中学校CRT調査	学務課
平成23年 4月18日	春松中学校第1回学級満足度調査	学務課
平成23年 5月19日	春松小学校第1回学級満足度調査	学務課
平成23年 6月21日	羅臼小学校第1回学級満足度調査	学務課
平成23年 7月13日	羅臼中学校第1回学級満足度調査	学務課
平成23年11月 8日	羅臼小学校第2回学級満足度調査	学務課
平成23年11月11日	春松中学校第2回学級満足度調査	学務課
平成23年12月 2日	春松小学校第2回学級満足度調査	学務課
平成24年 2月 8日	羅臼中学校第2回学級満足度調査	学務課

### (2) いじめ・不登校への取組み

平成23年度は春松小学校において、6年生校内による校内暴力が1件発生したが、加害者、被害者の保護者を交え、学校全体の取り組みを行った。なお、平成23年度における不登校の報告はない。

### (3) 教育委員会が行った主な教職員の研修等

開催月日	研修会名	講師等
「ピアサポート研修会」	平成23年5月23日～24日 春松中学校・春松小学校・羅臼中学校・羅臼小学校	講師：日本教育相談学会 会長 中野武房氏
北海道立教育研究所 連携セミナー	平成23年7月20日 第1回目…教職員対象 第2回目…各校PTA対象	講師：道研企画研修部 三浦 務 主幹 瀧沼史朗 主事
羅臼町中高一貫教育 合同研修会	平成23年7月25日	講師：羅臼町教育委員会 教育長 池田栄寿
北海道立教育研究所 フリープラン研修 (第1期)	平成23年8月 3日～5日(3名)	講師：道研企画研修部 三浦 務 主幹 瀧沼史朗 主事講他
北海道立教育研究所 フリープラン研修 (第2期)	平成23年8月 8日～10日(6名)	講師：道研企画研修部 三浦 務 主幹 瀧沼史朗 主事講他
羅臼町初任者研修会	平成23年10月12日	講師：根室教育局学習支援課 課長 渋川賢一氏 町教委指導主幹 山崎 守 自然環境指導主幹金澤裕司他
羅臼町 特別支援教育研修会	平成23年10月28日	講師：教育大学釧路校 准教授 二宮信一氏
学習指導法研 「ピアサポート研修会」	平成23年11月22日	講師：日本教育相談学会 会長 中野武房氏
教員のための 理科実験教室	平成23年12月13日	講師：教育大学釧路校 准教授 境 智尋氏
北海道立教育研究所 フリープラン研修 (第3期)	平成24年1月11日～13日(3名)	講師：道研企画研修部 三浦 務 主幹 瀧沼史朗 主事

(4) 各種学校・学級支援

事業名	開催月日	講師等
羅臼中学校 数学支援員の配置	平成23年9月5日～6日・12日～13日 平成23年10月3日～4日・11日～12日	講師：教育大学釧路校 大学院生
春松中学校 数学支援員の配置	平成23年9月7日～8日・14日～15日 ・13日～14日	
小学校学習支援事業	平成23年9月20日～22日・春松小学校 平成23年11月7日～10日・羅臼小学校	講師：教育大学釧路校 教育学部学生
オータムスクール開講	平成23年9月22日～24日・春松小学校 平成23年11月11日～13日・羅臼小学校	
理科支援員の配置	平成23年10月31日・11月1日・7日・ 12月6日 春松小学校 平成23年11月8日～11日 12月1日～2日、7日・12月6日 羅臼小学校	講師：教育大学釧路校 教育学部学生
ロボット教室の開催	平成23年11月9日 羅臼小学校6年生 平成23年11月10日 春松小学校6年生	講師：教育大学釧路校 准教授広重真人氏
防災教室の開催	平成23年12月13日 春松小学校6年生 平成23年12月14日 羅臼小学校6年生	講師：気象庁釧路地方気象台 谷内和弘氏 教育大学釧路校 准教授 境 智洋氏

### 3 社会教育施策

取り組みの概要	羅臼町第5次社会教育中期計画で定めた平成23年度の各種事業について、生涯学習の観点から次の通り実施し、当町の地域に根差した社会教育を振興した。	
事業名	取り組みの概要	内部評価
<b>社会教育計画及び各種調査研究</b> 目標：地域の実情に即した社会教育計画の策定を行う。そのために各種調査及び資料収集活動を行い、計画の遂行及び事業展開のための基礎資料とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種事業アンケート調査を行い、新年度事業の材料としている。</li> <li>事業反省評価を行い、次年度の予算に反映している。</li> <li>中期計画策定終了</li> </ul>	A
<b>学校開放事業</b> 目標：住民の生涯学習活動を推進するため、学校施設を開放し、学習の場として提供するための条件整備を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営自主管理の運営委員会としては、一定の機能を果たしている。</li> <li>各団体の活動拠点として有効に利用されている。</li> </ul>	B
<b>(青少年教育)</b>		
<b>第29回ふるさと少年探険隊</b> 目標：ふるさとの自然に親しみ、豊かな心を養い、子どもたちの郷土愛、忍耐力、協調心を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育大学岩見沢校との連携が4年を経過し軌道にのった。</li> <li>スタッフミーティングを重ねることにより、子どもの指導に対して共通意識をもって対応できている。</li> <li>地域スタッフとの連携・協力が図られている。</li> </ul>	A
<b>高校生の水産教育</b> 目標：漁業後継者を目指す高校3年生を対象に、漁業に関する基礎的、基本的な考え方や、知識・技術を学ぶ機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標は達成している。</li> </ul>	A
<b>成人式</b> 目標：成人となったことを祝い、社会人としての有意義な人生を歩むよう誓い、励ます機会とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標は達成しているが対象者に関わりを持たせる仕掛けづくりが定着していない。</li> </ul>	B
<b>(成人教育)</b>		
<b>家庭教育学級</b> 目標：家庭教育はどうあればよいのか、親のあり方、発達課題、子育ての悩み等、気軽に考えあえる場をつくり、よりよい家庭づくりを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度、未着手であった。</li> </ul>	D
<b>(芸術文化)</b>		
<b>芸術文化活動振興奨励事業</b> 目標：町民の自発的、創造的な芸術・文化活動の促進を図るため、町民を対象とした芸術・文化的な事業を行う団体に対して助成を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有志による団体に対し、2度助成を行った。</li> </ul>	A
<b>少年芸術劇場</b> 目標：町内の児童・生徒に優れた芸術文化の鑑賞機会を提供し、豊かな情操の涵養に資する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年も演劇は小・中・高生ともに一体となって鑑賞していた。</li> </ul>	A
<b>(団体育成・指導者育成)</b>		
<b>子育て支援関連事業</b> 目標：子育てに関する事業を展開する関係機関と連携をとりながら、子育て情報の提供を行い、サークル活動を支援していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援サークルが活動停止。社会教育事業としては未着手。</li> <li>図書室では、ブックスタート等子育てサークルが活発。</li> </ul>	D
<b>郷土芸能振興事業</b> 目標：郷土芸能「知床いぶき樽」を学習素材として後世に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主的な活動をしている。</li> </ul>	B

<b>社会教育関係団体等の支援</b> <b>目標：</b> 団体をリードする指導者の発掘、要請を推進し、自主自立を目指した継続的な支援・育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体ともに、自主的に活動がなされている。</li> </ul>	B
<b>リーダー養成事業</b> <b>目標：</b> ボランティア活動や教育委員会を通じて、組織的学習活動の助長を図り、リーダーを養成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>青年層へのアプローチを模索</li> </ul>	C
<b>ジュニアリーダー研修派遣事業</b> <b>目標：</b> ジュニアリーダー研修に派遣し、資質の向上を図るとともに、団体生活の活性化に資する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>例年、各中学校の協力を得て数名を派遣し、定着している</li> </ul>	A
<b>(文化財)</b>		
<b>埋蔵文化財保護事業</b> <b>目標：</b> 古代の歴史を今に伝える遺跡を保存し、事前協議の必要なものについては調査を実施する。発掘調査が必要なものは発掘を実施し、記録として保存する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>予定した事業（作業）は実施した。</li> <li>平成23年12月26日、旧植別小中学校校舎を改築し、郷土資料館としたことから、各種資料の移転を行った。</li> </ul>	A
<b>国指定文化財保護事業</b> <b>目標：</b> 国指定天然記念物の保護と生態、生育環境の調査、一斉調査を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>予定した事業（作業）を実施し、継続中である。</li> </ul>	A
<b>北海道指定天然記念物保護事業</b> <b>目標：</b> 道指定天然記念物の保護・管理に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>予定した事業（作業）は実施し、継続中である。</li> </ul>	B
<b>郷土資料室整備事業／管理事業</b> <b>目標：</b> 自然や歴史的文化財を多く残す当町において、その一部に間近に接し郷土への認識を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>予定した事業（作業）は実施した。</li> </ul>	A
<b>公民館事業（地域に根ざす事業）</b>		
<b>調査・評価</b> <b>目標：</b> 公民館活動充実のため、各種調査・評価を行い、事業展開の基礎資料とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座への参加者が少数のため、やってほしい講座も少数意見となり成果が現れない。</li> </ul>	C
<b>(生活文化を高める事業)</b>		
<b>ふるさと体験教室</b> <b>目標：</b> 羅臼の自然を楽しみながら学習し、郷土の文化を愛する心を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加しているキッズが楽しみながら羅臼の自然や郷土文化を学習している。</li> <li>本年度より、学校の協力を得ながらプログラムの内容によってオープン参加を実施した。</li> </ul>	A
<b>各種趣味講座</b> <b>目標：</b> 趣味的活動を通して、一人でも多くの人が生きがい感と創作の喜びを持てる機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師及び参加者の確保が不十分となっているが、参加者は生きがい感と創作感が持てている。</li> </ul>	B
<b>郷土料理教室</b> <b>目標：</b> 郷土の素材を使った料理を通じて、郷土を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土の素材を使った料理教室を通じて郷土を知るきっかけになっている。</li> </ul>	B
<b>こまぐさ学級</b> <b>目標：</b> 趣味活動、教養講座を通じて高齢者が生きがい感をもてる機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級に参加していきがい感、笑うことを目標に活動できた。一部の生徒から「こまぐさ学級が楽しみだ。」との声が聞けた。</li> </ul>	A
<b>公民館相談事業</b> <b>目標：</b> 各種グループ・サークルの自主的な活動を助長し、住民のふれあい活動を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>依然として話すことや物品貸出等の相談が主となっているものの、今年は金額的な相談があり支援することができた。</li> </ul>	B
<b>第41回羅臼町総合文化祭</b> <b>目標：</b> 町内の文化活動をしている個人・団体・グループが一堂に会し、日頃の活動成果を発表する機会を提供し、活動の助長を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人、団体、グループが一堂に会し、日頃の活動成果発表の場となっている。</li> </ul>	A

<b>ふれあいコンサート</b> <b>目標:</b> 町内の園児・児童・生徒等に音楽の発表の機会を提供する。活動の助長を図りあわせて異世代の交流を通じたふれあいの場とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規出演団体が少ないものの、幼稚園児から高齢者までが参加し、異世代の交流を通じたふれあいの場となっている。</li> </ul>	A
<b>児童・生徒美術書道展</b> <b>目標:</b> 町内の児童生徒の美術及び書写活動による作品を一堂に会することにより、一層の情操と創造の心を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>出品作品数は児童生徒数と同様に減少傾向だが、作品を一堂に会している。</li> </ul>	A
<b>芸術文化鑑賞事業</b> <b>目標:</b> 多くの人に知られている著名人を講師として招き、現代社会に即応できるような知識・見聞を深める。または、生の優れた音楽を鑑賞させる機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラジオ番組で活躍されている「みのや」氏の舞台に触れ、普段鑑賞できない生のステージを鑑賞できた。</li> </ul>	B
<b>ロビー・ホール展示事業</b> <b>目標:</b> 気軽に芸術文化に触れる場とするほか、学習活動の発表の場としても活用する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館講座での学習活動の発表やコンテスト等での入賞作品など芸術や文化に触れる場として活用されている。</li> </ul>	A
<b>(図書館振興 基盤整備)</b>		
<b>資料整備事業</b> <b>目標:</b> 町民一人ひとりの資料要求にきめ細かく対応し、個人学習を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書購入予算が回復していないため十分な資料収集ができない。</li> </ul>	C
<b>図書事業 (読書普及事業)</b>		
<b>1 日子ども司書</b> <b>目標:</b> 図書館の仕事について知ってもらい、適切に利用できるよう援助する。また、本を紹介し読書の動機付けを図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務が定着している。</li> <li>子ども達と司書が交流でき、親しみを持ってもらっている。</li> </ul>	A
<b>読み聞かせ事業</b> <b>目標:</b> 本の紹介や読み聞かせを行い、読書の動機付けを図る。また、司書との交流を図り図書室に親しみをもってもらう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>回数、実施内容が定着し、充実してきた。</li> </ul>	A
<b>図書館バス利用ガイダンス</b> <b>目標:</b> 町内の子どもたちに公共施設を適切に利用する習慣や、社会性を身に付けてもらうため利用指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業が定着している。</li> <li>司書が1名で対応していたが、ボランティアの協力を得て実施できた。</li> </ul>	A
<b>本との出会い講座・講演会</b> <b>目標:</b> 親子の絆を深める家庭での読み聞かせを普及するため、絵本について学ぶ機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>P T A の読み聞かせ活動も定着し、絵本への興味付けは浸透してきている。</li> <li>両園の情報交流の時間を作り好評だった。</li> <li>両園の情報交流の時間を設け、読み聞かせ活動に携わる人が増えた。</li> </ul>	B
<b>第10回らうす古本市</b> <b>目標:</b> 限られた資源を有効利用しようとするリサイクル時代に、不要になった本や雑誌を町民に還元することにより再活用してもらい、地域の環境に気付き、この活動を通して図書活動への関心をもってもらう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>10回実施(うち体育館で3回)事業が辞退は定着。</li> <li>今年度まとまった本の寄贈があり販売本はあった。</li> <li>時期が来ると寄贈してくれる町民が定着してきた。</li> <li>ボランティア団体の協力が増え、広がりの一部見られた。</li> </ul>	B
<b>図書室出前事業</b> <b>目標:</b> 町民の要望や学校での読書案内の要望にきめ細かく対応し、図書活動の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度も希望に応え定期的に実施し定着。</li> </ul>	B
<b>ブックスタート事業</b> <b>目標:</b> 絵本を仲立ちに赤ちゃんと保護者が温かく楽しい時間を過ごし、一層絆を深めてもらうきっかけづくりのため、母親学級で手作り絵本を作成したり、乳幼児相談でブックスタート事業を行い、地域の連携によって子どもを育て支援する体制を作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの回答は概ね好評。</li> <li>各機関との連携体制がしっかり確立してきた。</li> <li>家庭での読み聞かせが継続されているか把握できていない。(H23初めて予算措置がされた。)</li> </ul>	B
<b>道立図書館出前講座</b> <b>目標:</b> 町内で社会教育活動に携わる方々が、図書館の基本的役割や道内各地域の図書館活動について理解を深め、本町の図書館振興を図ることを目的に開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>当初計画に無い事業だったが、委員及び職員研修の一環として行った単発事業。</li> </ul>	C

<b>図書館バス巡回事業</b> <b>目標:</b> 市街地から遠い場所に住む町民へ図書館サービスを提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般利用者はほぼ定着しており、子育て支援の視点からはじめているブックスタート事業の参加者が移動図書館バスの利用へ繋がっている。</li> </ul>	B
<b>社会体育（諸会議・調査）</b>		
<b>諸会議</b> <b>目標:</b> 社会体育振興の視点から当町の体育・スポーツ並びに健康・体力づくりの振興方策を探り、地域に根ざした社会体育の推進に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ推進委員会議の開催、管内、全道研修会への参加は、委員・職員ともほぼ充実している。</li> </ul>	B
<b>調査</b> <b>目標:</b> 各種調査により社会体育事業を効果的に実施する方策を探る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>必用に応じ、らいず主催事業やクナシリ駅伝でアンケート調査を実施している。アンケート結果はスポーツ担当と共有し、今後の事業計画やスポーツニーズの把握に役立てている。また、体育館利用者との日常的な会話から発信されるスポーツニーズや利用者の意見要望を、可能な部分について反映している。</li> </ul>	B
<b>（機会提供事業）</b>		
<b>小学校陸上運動大会</b> <b>目標:</b> 各種の陸上競技を適切に行わせることにより、心身の健全な発達を促し、相互の友愛を深め、公平な態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>“走る・跳ぶ・投げる”等、体を動かす基本動作を、陸上競技ルールに基づいた実施から機会提供が図られている。また、日頃の練習を含めて陸上協議に対する理解が深められている。</li> </ul>	A
<b>各種関連事業</b> <b>目標:</b> 練習成果発表の場及び町民相互の交流機会の提供を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>機会提供として各事業、対象者にアプローチしている。</li> </ul>	A
<b>（健康づくり相談事業「地域づくり推進事業」）</b>		
<b>スポーツ相談事業／各種スポーツ教室</b> <b>目標:</b> 各地域におけるスポーツ・レクリエーション、健康づくり活動を活発化させるとともに、自主活動の促進及び指導者養成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員が講師として対応するなど、スポーツに対する相談について採択し対応している。また、事業実施のための企画運営等の相談にも求めに応じて対応している。</li> </ul>	A
<b>学校体育施設開放事業</b> <b>目標:</b> 地域住民の居住地域である学校体育施設を開放することにより、スポーツ・レクリエーション活動の促進を図り、健康・体力づくりの意識づけを図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主管理運営方式の各小学校の状況は、羅小の開放については若干飽和状態であるが、春小には開放日に余裕があり、開放希望があった場合も対応できる。指導員配置方式の羅中、春中とともに老朽化が激しいが、各小学校に空きが無い状態になった場合、開放できる学校施設が確保できている。</li> </ul>	A
<b>子どもの体力向上事業</b> <b>目標:</b> 運動習慣及び望ましい生活習慣・食生活の育成を図るため、児童生徒の体力・運動能力の向上を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本年度は、子どもの体力向上事業に係る取り組みとして、コーディネーショントレーニングについての学習会・講演会などへの参加や、ブロンズセミナーへの参加のほか親子体験会や学び会などについて「らいず」とともに活動した。</li> </ul>	D
<b>指導者（リーダー）養成事業</b> <b>目標:</b> 地域リーダーやスポーツ活動をけん引する指導者の発掘・養成を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種指導者研修会やニュースポーツ講習会、リーダー研修会を体協・スポ少を中心に積極的に情報発信を行い、団体の必要に応じ参加体制を整えてきた。</li> </ul>	B
<b>（施設整備事業）</b>		
<b>体育施設の整備・充実</b> <b>目標:</b> 各スポーツ施設の整備及び効果的な開放の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイクリングマシンを購入したことにより、トレーニング室の利用率が大幅に向上した。また、フロアシートは以前のものよりも軽いものであり、利便性が増し、総合文化祭等で利用された。</li> <li>利用団体の会議を12月に開催することにより、意見を予算に反映でき、冬期間のアリーナ利用割の調整も図られた。</li> </ul>	A
<b>社会教育団体等の支援</b> <b>目標:</b> 団体をリードする指導者の発掘、養成を推進し、自主自立を目指した継続的な支援、育成を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援の重点である「総合型地域スポーツクラブらいず」は、成果が表れている。事務局機能としての体育協会、スポーツ少年団の事務は滞り無い。</li> </ul>	A
<b>（その他）</b>		
<b>各種補助事業</b> <b>目標:</b> 各種スポーツ団体が、より活発な自主活動を展開するための経費を補助する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動や運営に対し例年補助されており、有効に活用されている。</li> </ul>	A



## 第IV章 外部評価委員の意見

### 1 幼稚園教育

#### ☆幼稚園と小学校との接続に関わる連携☆

- スムーズな接続には、日常からの交流が必要であり、体系化されたりレシジョン・カリキュラムの立案と実行を期待したい。

そのためには、幼稚園と小学校の協働的な作業が必須であり、多忙な教員たちが十分な時間をかけて協議ができるよう、行政が積極的に協議の場を支援し、子ども達の実態にあわせた幼一小的連携システム構築が可能となるよう配慮をお願いしたい。

また、そのような協議の場は、教員間のインフォーマルな関係を形成することにつながり、形式的になりがちなフォーマルな会議体を、実質を伴ったものに変化させる要素を含むものになると考える。特に、小学校教員は、転勤族であることを考えると、立案のプロセスは協働的な作業ではあるが、毎年の運営に当たっての考え方の継承は、幼稚園教員が主体となったものとなると考えられ、単に「熱心な人材に依存する」というような体制では長期的な効果は期待できず、人事異動に左右されない体制づくりが必要である。

#### ☆食育の推進☆

- 子どもの発達のベースは、「食べる」ということであり、健康的な生活のリズムと食育の推進（早寝、早起き、朝ご飯）に関して、家庭との連携が重要なものになってくるとわれ、保護者の啓発の一層の工夫が期待される。

#### ☆カラダ作り☆

- 長期的な展望に立って、継続的に取り組む必要があり、年度ごとのデータの蓄積を行い、羅臼町の子ども達の状況を大きな流れの中で把握できるよう工夫する必要がある。

### 2 学校教育

#### ☆教師の指導力向上☆

- 羅臼町の地理的状况を考えると、多くの教員が、様々な研修機会に恵まれ、積極的に参加してきていることについて、高く評価したい。教師自身の成長にとって研修は不可欠なものであり、今後も継続して行われることを期待したい。

しかし、教師の指導力向上で期待されるのが、子どもの変化（生活上、学習上）である。行った研修の実績の評価のほかに、子どもの変化にも着目した評価も合わせて行えるよう工夫する必要がある。

- 教員の教員個々の課題を校長自身がしっかりと捉え、校長が研修機会への参加者奨励を積極的に行う必要がある。

特に、羅臼町は各種研修機会が少ない町であり、教員は積極的に学ぶ姿勢が必要である。残業等の問題があるとすれば、幼小中高一貫教育研究会の主催やサークル等の自主開催などの方法も考えられる。他町では、保健福祉課が特別支援に関わる先生のための勉強会を開催するという事例もあり、インフォーマルな（本音の部分の）関係があつてこそ、フォーマルな（正式な場面での話し合い等）関係がうまく働く。だからこそ、校長に考えてもらわなければならない課題であることを理解することである。

### ☆家庭学習の定着☆

- 羅臼町には、羅臼町固有の地域課題があり、家庭学習の定着は、学校のみ姿勢では前に進まないものであるから、PTAの諸活動を含め、より一層、家庭との連携が必要である。  
また、学力向上のターゲットとなる子どもをどのように想定しているのかが不明で（筆者は、羅臼町の将来にとって必要なのは、低学力層の底上げであると考えているが）、想定されるターゲットとなる子どもに向かう戦略的なアプローチに期待したい。

### ☆小中学校の連携☆

- 羅臼町は、幼稚園—小学校—中学校の流れがすでに出来上がっており、大変恵まれた状況の中で連携体制の確立が可能な町である。管理職・教師の意識変化と一層の努力を期待したい。
- 「幼小中高一貫教育」は、全国的にも珍しく、羅臼だから可能な事例である。教員は、文脈的な見方しかできない傾向があるが、幼小中高一貫教育は、このことの改善につながる可能性があり、大きなメリットとなりうる。教員に地域（地域事情・地域課題）を知ってもらうこと、キャリアを積む上でなど、多角的に評価できる。  
何年か後に、幼小中高一貫教育の積み上げができていくかが課題。  
根室管内では、教員の年齢層が上がっても、学校のパフォーマンスは上がっていない面もある。特に、支援教育の視点では、中堅の先生がネックとなっている面もある。  
羅臼町の一貫教育は、町教委が意図的に教員の研修を積み上げていける可能性があるが、そのキーパーソンは「校長」である。何年かこの制度（町独自の研修制度？）を積み上げて、全国に発信できるような事例となるよう期待する。

### ☆特別支援教育の推進☆

- 特別支援教育がまだ、「障害児教育」という枠組みの捉えであり、その「障害児教育」も「知的障害」や「自閉症」などの特別支援学級を想定したものの範囲を超えていないことが窺われる。通常学級における配慮を要する子どもや生活面・学習面で支援を要する子どもの問題として捉え、そのような子ども達への取り組みとなるよう、一層の工夫と配慮を期待したい。

### ☆中高一貫教育の充実☆

- 子どもたちの学習に対する動機づけが不十分で、子ども達が学ぶ必要性を感じていないことが窺われ、そのことが、学習面への不安として保護者からの回答に表れているものと考えられる。もともと学校教育は、脱文脈化された内容を抽象的に学ぶのであるから、教師側に様々な工夫が求められる。  
もちろん「将来のため」というようなことでは、子ども達に説得力は持たない。学ぶことの意義、生活との関係性、学ぶために学ぶのではなく、今、ここで生活していく上で必要なこととして学ぶなど「学び」を捉えなおす必要があると思われる。

## 3 社会教育

### ☆家庭教育学級及び子育て支援関連事業☆

- 未着手であった家庭教育学級について課題の洗い出しを行い、関係機関・団体との連携を通して、保護者の子育て機能の向上のみならず、地域の子育て機能の向上が図れるよう地域資源の創出に期待したい。

### ☆子どもの体力向上事業☆

- 学校・家庭・地域資源の連携の問題として捉え、イベント的な事業ではなく、日常の様々な活動の中に組み入れていけるよう工夫する必要がある。
- 子どもたちの体力向上に関して、羅臼町は子どものみならず大人の体力も落ちている。他町からガイドツアーに参加する60歳代の男女でも脱落者はいないが、RSC らいずが主催する羅臼町民を対象とした羅臼岳登山の参加者は、時間もかかるし体力的な弱さを感じる。～（かつての春松中学校時代の登山の例と比較すると、栄養状態も数段良いはずだが体力が落ちている。社会体育としてだけでなく、町全体としてこの問題をとらえる必要を感じる。）
- 学校は、羅臼岳登山などで、熊などと遭遇し事故が発生するリスクを恐れるのではなく、リスクを乗り越えていく努力が必要ではないか。このことを反映した取り組みを期待する。
- へき地の子は、街中の子より歩かないのは顕著に示されている。RSC らいずの取り組みは、年度ごとの継続的な積み上げが大事。自身も体力づくりは学力向上につながると考えており、子どもは成果が見えるとガンバルので、学んだことが役に立つことを実感できるよう、戦略を練って取り組むことが大事である。

### ☆青年団体活動☆

- 未就労青年の存在に関連して、道外では発達障害の青年が神輿の担ぎ手になって地域で活躍している例もある。青年団体衰退は顕著だが、青年団体の組織化はかなり粘って仕掛けていく必要がある。近年、学校が地域とつながっていない。幼・小学校から地域とつながることが必要で、そのことが青年活動へもつながる。
- 羅臼町は家庭教育・子育てに関する取り組みが弱い。幼児教育の段階で親同士の組織化が大事。この段階から（母親のみならず父親も含めた）親同士の関係づくりが必要。

## 4 外部評価委員の幼稚園・学校訪問における意見

### (1) 幼稚園について

- ① 園長を中心に子どもの成長を考えた指導が成されていると感じた。園の環境も大変よい。例えば、園内の掲示がよく工夫されている。また道具等も使いやすいように整備されている。また教室の前面の掲示についても子どもの学びを考えた配慮が成されている。自然と共存した教育が成されていると感じる。知床の動植物の写真などが掲示されていること。子どもたちの活動記録に羅臼の自然が織り込まれていることが素晴らしい。

#### 【課題】

羅臼幼稚園の環境整備について

- ・ホールでの声の反響の改善
- ・ホールの柱の落下防止

\*いずれも園児の教育環境および、園児を守るための整備であるため、出来る限り早急に取り組むことが必要と感じる。

### (2) 小学校・中学校に関して

- ① 知床学が幼小中高を通じて行われており、羅臼らしい教育が成されていると感じた。  
【課題】 くま学習など知床の自然を扱う知床学と一般教科との関連を示すことが必要。
  - ・自然学習と教科(国語・算数・理科など)との関連図や、関連を示す記載が見られない。

- ・自然学習が教科と関連されることで、このような力をつけさせることができるという具体的な記載が欲しい。
- ・羅臼ならではの教育は、くま学習などの「知床学」であることは大変評価できる。今後ユネスコスクールとして世界へ発信できる内容である。

しかし、この知床の自然を生かした教育が生徒の学びにどのように影響を与え、どう生かされているのかが評価することも必要となってくる。その際、これらの学習(クマ学習、知床学)が教科とどのように関連しているか、まずは関連図が必要であると感じている。

また、身近な自然を生かした教育は、子どもたちの身近な素材を生かしているため、日常との関わりや、意欲関心からも子どものも学びにとって非常に有効である。ゆえに、教科との関連が明らかになれば、学力向上への1つの方策となる。つまり、クマの生態を学ぶことがその時間に収束するのではなく、クマの生態が、学年の理科のこの単元と結びついていること、知床の動植物を調べてまとめるのであれば、このことが理科のこの単元と結びつき、より深める学習になっていることや、まとめることが国語のこの単元やこの指導項目と関連があるというような教科との関連を示すことが必要であり、どのような力をつけていくのか具体的に教科の目標と関連させていくことが大切である。

総合的な学習の時間の計画だけでなく、教科とどう関連しているのかを示すことが必要であり、指導者側も、子どもに「どのような力をつけさせたいのか」を意識すべきではないかと考える。

#### ② 修学旅行で職場訪問（大学訪問）が行われており、キャリア教育として評価できる。

羅臼以外の地域の職場を見せること、大学を見せることは、積極的に取り入れて行くべきである。将来の進路を考える上で、子どもたちにより影響を与えているのではないかと感じる。今後、数年後の子どもの進路を調査することも必要である。

#### ③ 防災訓練が実施されていることは、大変評価できる。

津波を想定した避難訓練が行われていることは大変評価できる。想定が低いから安全ではなく、どんな場合にでも1人1人の命を守るために、現在の避難訓練は続けることが必要であり、学校独自ではなく、地域一帯となった訓練を継続して行っていくことが望ましい。

**【課題】** 年齢に応じた対応も考慮し、避難訓練の際に、老人をどのように避難させるか、誰が助けて避難させるか、弱者（障害や体力的に避難が難しい人）をどう避難させるかなど、町ぐるみで考え、児童生徒がどんなことをすべきなのかを考えさせることも今後必要である。また、春松地区における全住民の避難場所を確保することが必要である。

#### ④ 学力向上に関する取り組みが評価できる。

課題票を見える場所に掲示する（羅臼中）、佐藤塾（春中）など学校の取り組みは大変評価できる。

**【課題】** 今後は、放課後に頼るのではなく、1時間1時間の授業において学力の定着を図ることが大切であり、授業改善、授業研究をより進めていくことが必要に感じる。外部との連携を密にし、道研等への研修を積極的に利用すると共に、管内、道内の研究会へ積極的に参加し、良いモノを真似し、改善して自分の実践としていけるようにする。

授業で勝負する教員が多い羅臼をつくって欲しい。(非常に難しいことであるが、少年団、部活などの活動に関し、先生方の負担をより軽減できるようにし、授業研究の時間を確保できるように徐々に改善することを望みたい。)

#### ⑤ 幼小中高の連携

幼小中高が1つとなって幼小中高一貫教育研究会が立ち上がったことは大変評価できる。教科の中で、学校種を越えてお互いに授業研究をし合い、より高まっていく研究会に発展して欲しいと願っている。また、中学校の先生が小学校の授業、高校の先生が中学校の授業など交流授業もあってよいのではないか。得意分野、教え方がうまい分野は、学校種を越えて学び合うことを行って欲しい。